

学びナビ ～自学自習のすすめ～

※「学ぶ」と「習う」の違いは何？

答えは裏に

伸びる生徒の10の法則

- 1 「なぜ？」「面白い！」と思ったときが始まり
- 2 とことん調べて、とことん考え抜く
- 3 書くことで
頭の中がすっきり
- 4 人と話し合うことで
道が開ける
- 5 授業が肝心！！
- 6 家庭学習・・・力はここで養われる
- 7 一步一步 地道に
- 8 目標と計画が カギになる
- 9 本・新聞は学びの宝庫
- 10 学習を生活リズムの中に組み込め！

自分で考えるのは
カッコイイ！
自分で判断するのも
カッコイイ！
自分から発信するのは
もっとカッコイイ！！



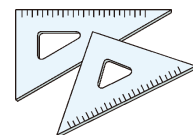
ひとつ上いく家庭学習

◆ **復習** でガッチリ自分のものに
脳は、忘れるようにできている

(20分後に42%、1時間後には56%、1日で74%も忘れちゃう！)

※エビングハウスの忘却曲線より

時間が過ぎて忘れかけている「今日の授業」を自分のものにしよう



◆ 予習で授業の内容をぐんぐん吸い込もう

予習をすることで、わからない部分をあらかじめ知っておけば、授業中はその部分の解説に集中でき、授業後に質問することもできます。予習をするかしないかで授業の効果には大きな差が生まれます

◆ 家庭学習のポイント

①「やらなきゃ落ち着かない」と思えばしめたもの（まずは習慣に）

- ・決まった時間に、決まった場所で
- ・テレビや音楽を消そう。「ながら勉強」はマイナス
- ・身の回りを整理して必要な物をそろえよう

②限られた時間をどう使う？（学習計画）

- ・「何を、どういう順番で、どれだけする」を決めてから始めよう
- ・まずは、宿題！
- ・次に、自主勉強

③自主勉ノート、どうせやるなら自分らしく

- ・授業で習ったことをまとめなおす（要点整理）
- ・単語や漢字を覚えるために書く・書く・書く・書く・
- ・教科で分ける
- ・間違った問題だけ選んでもう一度やってみる

などなど

④（でも）自主勉ノートだけが自主勉強ではない！！

- ・次に習うところの教科書に目を通す
- ・教科書の本文を音読する
- ・授業で習うより先にワークブックをする
- ・暗唱をする（英語や古文など）
- ・単語帳や自作の要点集を作る
- ・辞書や資料集、WEBで調べる

などなど



⑤「正しい答え合わせ」を知ろう

- ・○や×をつけるだけ、正解を書き写すだけは答え合わせではない
- ・間違ったら、なぜそうなるのかを考えよう
- ・もう一度解いてみて、すらすら解けたらOK
- ・「本当に分かった」までが勉強

⑥自分にあった学習の仕方をみつけよう

- ・書いて覚える
- ・とにかく問題を多く解く
- ・とことん調べる
- ・読みながら線を引く

などなど



◆ 自分の脳は自分で育てる

脳は、使えば使うほど成長する

すぐ止めない、毎日取り組むことで脳は鍛えられる

「根気がある」も実力のうち